

9月定例会 一般質問要旨

2次元コードを読み取ると、議員それぞれの全ての質問の様子をご覧いただけます。



リチウムイオン電池の火災予防と回収体制の充実について

創政クラブ 川岸 靖隆

議員 太田市消防本部管内でのリチウムイオン電池関連火災の発生件数について伺います。

消防長 令和4年は1件、5年と6年は2件、7年は8月末現在で2件発生しています。

議員 リチウムイオン電池の回収の流れについて伺います。

産業環境部長 ごみステーションでは危険ごみとして回収しています。また、行政センターと市役所庁舎内に設置している小型家電回収ボックスでは、小型家電から分解しないと取り外せない電池を小型家電とともに回収しています。

議員 他市の事例では、小型家電回収ボックスと併設する形で、パール缶を活用した充電式電池の回収ボックスを設置しております。本市も公共施設などへ充電式電池の回収ボックス設置を検討すべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 回収容器や方法が適切であ

るかということを含め、今後研究していきたいと考えています。

議員 安全な回収体制のため、小型家電回収ボックスが設置されている公共施設の窓口などで、発火の危険性が高い電池を直接回収することについて、所見を伺います。

市長 安全な回収方法について関係部署でよく協議を行い、議員の提案を含め、検討していきたいと考えています。

■その他の質問

▷民間の力と関係人口で拓く太田の未来について



市外からの交流人口増加を活かした観光事業の強化について

志友会 高野 博善

議員 市外からのイベントなどへの来場者を観光事業につなげ、活かす取り組みについて、所見を伺います。

産業環境部長 スポレク祭などのイベントや金山周辺を活用した誘客促進について、関係者や関係部署と連携をとりながら検討しています。

議員 市外からのプロバスケットボールの観戦者に本市の文化財への興味関心を抱いてもらうための企画について、所見を伺います。

教育部長 おおた魅力再発見バスツアーやOTAマルシェなどと積極的に協力し、魅力を発信していきたいと考えています。

議員 市外からの交流人口をさらに増やし、活かすための取り組み強化について、市長に所見を伺います。

市長 文化財のほかに本市には「産業観光」という言葉もあるように、ものづくりのまちとして産業も観光資源の一つだと考えています。このような強みを活かして交流人口の増加に

つなげることができないか検討しています。

議員 交流人口を増加させるためには、市役所内の部局の垣根を越えたプロジェクト組織やチームを設けるなどの横の調整をさらにスムーズにする工夫が必要であると考えますが、所見を伺います。

市長 縦割り行政の改善と横のつながり、連携は重要であるため、観光スポットへ誘導する取り組みについても各局で連携を密にし、一丸となって取り組むよう指導していきたいと考えています。



街路樹の管理について

志友会 青木 雅浩

議員 本市には数多くの街路樹があり、老木や肥大化したものなどは周辺環境に与える影響が懸念されるため、状態を気にかける必要があると考えますが、街路樹の管理に関する課題について伺います。

行政事業部長 街路樹は管理が行き届かないと根上りによる通行の支障や倒木被害、見通し悪化などにより事故や苦情につながるため、剪定や伐採を適時行い、苦情をなくしていくことが課題と考えています。

議員 周辺環境に悪影響を与える可能性がある場合、地域のでん承を前提として積極的な抜根や伐採を実施すべきと考えますが、今後の管理のあり方について伺います。

行政事業部長 まず、危険性のある樹木をなくせるよう管理を徹底し、関係部署と協議を進め、必要な予算や人員確保をしたうえで適正な街路樹の管理を実施したいと考えています。

議員 新規整備予定の道路や歩道

における街路樹の設置の有無について、市長の所見を伺います。

市長 道路の街路樹については、地域の要望を踏まえつつ、維持管理費などを勘案したうえで決めていきたいと考えています。

議員 街路樹の管理に関する職員の充実強化について伺います。

市長 計画的な管理と苦情や要望については、スピード感を持ち対応することが必要となるため、状況を確認し、検討していきたいと考えています。

■その他の質問

▷災害への備えについて



本市の持続可能な行政運営に向けた事業の選択と集中について

志友会 長 正祐

議員 行政事業の見直しや廃止の基本方針、制度的枠組みについて、全庁的に整備されているのか伺います。

企画部長 ISOやマネジメントシステムに基づき、各所管課の責任において判断しています。

議員 事務の統一的な評価基準を策定し、全事業の一斉点検を行うことについて、市長に所見を伺います。

市長 さまざまな事業があり、統一基準で評価するのは現状難しいですが、行政事業を点検、検証、改善することは重要であり、プロセスシートで事業の縮小や廃止の判断に資する改定を研究していきたいと考えています。また、政策継承検討委員会の設置も検討しており、各種事務事業の評価、見直しを進めていきたいと考えています。

議員 新規事業を導入する際に、スクラップアンドビルドの原則を制度として位置付けることについて、所見を伺います。

市長 新規事業を計画する際には

勇気を持って既存事業の縮小・廃止を判断し、スクラップアンドビルドの原則を強く意識して、全庁的に取り組みたいと考えています。

議員 事業の見える化に向け、さまざまなデータをAIで分析し、成果や課題、改善提案を自動的にできる事業評価ダッシュボードを構築することについて、所見を伺います。

市長 デジタル技術を駆使し、行政の見える化や説明責任を果たすべく、事業評価ダッシュボードと同等の情報分析や公表ができるように検討していきたいと考えています。

